

東北大学・東北学院大学・大阪大学合同研究発表会

2015年8月9日(日)

(於：大阪大学文学部本館2階大会議室)

13:30~13:40 開会の言葉・自己紹介

13:40~14:25 第一発表

司会 上里 友子

(大阪大学大学院 博士後期課程3年)

カナリアいろの病

—マンスフィールド「カナリア」(‘The Canary’)と第一次世界大戦

畠山 研 (東北学院大学大学院 博士後期課程3年)

14:25~15:10 第二発表

「なぜクリケットが重要なのか？」

—Mrs Dallowayと偶然性の政治学

酒井 祐輔 (東北大学大学院 博士前期課程1年)

15:10~15:20 —休憩—

15:20~16:05 第三発表

司会 中嶋 彩佳

(大阪大学大学院 博士後期課程2年)

方法としての狂気

—D. H. Lawrence, “The Woman Who Rode Away”における「思考の冒険」

水田 博子 (大阪大学大学院 博士後期課程3年)

16:05~16:50 第四発表

Richard Powers の *Prisoner's Dilemma* における兄弟姉妹の関係と「書く」こと

林 日佳理 (大阪大学大学院 博士後期課程1年)

16:50~17:00 講評・閉会の言葉